

# F 1日本グランプリ S-F Jチャレンジカップレースレポート

(鈴鹿サーキット 国際レーシングコース 10月13日 晴れ)



<レーシングチーム> LTV Racing

<ドライバー> 天野 翼 (20歳)

<参戦クラス> Super-F Jクラス(ゼッケン5番 参加33台)

<マシン> R&D 10V

<スポンサー> T-PLAN様、TOKO様、宇都宮餃子館様

<タイヤ> YOKOHAMA

<オイル> WAKO'S

<リザルト> 予選 12位

決勝 6位入賞

<リザルト詳細URL>

鈴鹿サーキット [http://www.suzukacircuit.jp/result\\_s/2013/f1/index.html](http://www.suzukacircuit.jp/result_s/2013/f1/index.html)

Super-F Jオフィシャル <http://www.jss-org.com/>

## <詳細レポート>

### \* 金曜日練習走行

金曜日は天野選手にとって初の鈴鹿サーキットとなる為、30分と少ない練習時間をできるだけ多くの周回数を稼ぐ事とする。NEWタイヤを投入しマシンのバランスとコースの特性を掴むことをメインに走行した。鈴鹿は東セクションと西セクションで特性の違うサーキットで、序盤はそれに合わせて行くことが難しいようで、徐々に慣れていきセッション後半でタイムを上げていくことが出来た。しかし、鈴鹿用に組んだミッションが不調でギアの入りが良くなくタイムを縮めることができない。練習走行セクション結果は2分15秒7でトップと1秒5差の12位/33台で、上位とはまだ大きな差がある。公式予選に向けてトラブルとドライビングの問題点が分かったので、初日としてはまずまずの結果であった。

### \* 土曜日予選

#### 【公式予選】

9時30分からの公式予選は全車がNEWタイヤでアタックする。昨日まではUSEDタイヤで走行を重ねていたライバルもいたので、この日が本当の周りとのタイム差がわかる走行となる。天野選手は前の方から出走し、経験を積むためにより多くの周回数を稼ぐことにした。F1開催のコース路面はコンディションが良く、序盤から全車が好タイムをマークしていく。天野選手も5周目に2分14秒389という昨日から1秒以上のタイムアップで上位につけていたが、昨日のミッショントラブルが大きくなり、トップとの差も1秒5のまま12位/33台と昨日変わらないポジションとなった。予選後ミッションを点検すると、ドグミッションの部品が破損していた事が分かったので、急遽部品を交換し翌日の決勝レースに備える。

### \* 日曜日予選

#### 【決勝レース】

12番グリッドからの決勝レース。全8週の超スプリントで争われることもあつてか序盤から各所で荒れるレース展開となった。今期もてぎシリーズでなかなか決めることが出来なかった課題のスタートは、冷静にスタートを決めることができ、1・2コーナーを曲がった段階で11位に順位を上げられた。そして序盤のペースが良かったので、前に喰らい付いていき、いつでも抜ける態勢にしつつ前の様子を伺っていた。1周目のシケインコーナーで前車2台がブロックやパッシングラインが交錯して詰まったのを見逃さず、イン側に勝負を仕掛けて見事2台をパスし9位までポジションアップする事ができた。その後も、冷静に前車見ながらペースを上げパッシングし、5周目には7位まで順位を上げた。残り3周、エンジントラブルで落ちてきたマシンをパスし、後ろからの追撃を抑えて6位フィニッシュで入賞する事ができた。トラフィックの中でのレースとなりベストラップはトップと差があったが、レースとしては今季のベストと思えるレース内容となった。



今回はF1日本グランプリサポートレースと言う事で、大観衆の前でのレースは、今後プロのレーサーを目指すには良い経験となります。また、天野選手にとって鈴鹿サーキットは未知のサーキットなので、経験を積むことと地元のライバル勢との力関係を把握する事は、今シーズンの集大成である日本一決定戦へ向けての準備となります。そういった中でしっかりとスケジュールと課題をこなしたレースは、今シーズンで一番の内容だったと思います。まだトップとはタイム差があるので、課題とトラブルを解消して、S-FJ日本一決定戦の舞台である鈴鹿に戻ってきたいと思います。

#### 【ドライバーコメント】

今回は、全くの初コースでのいきなりのレースウィーク。マシンやコースの限界を探りながらセットアップし、かつクラッシュやトラブルを絶対に出してはいけない普段には無い緊張状態でのレースになりましたが、落ち着いてレースを進めることができたのが、非常に良かったと思います。後は、全体的なタイムの底上げが出来れば、日本一決定戦でも優勝争いに絡めると思いました。最後にこのレースを開催実現に導いたFJ協会の皆様、鈴鹿サーキットの皆様、そして決勝当日に応援に来て下さった寺島様をはじめスポンサーの皆様、遠い地から応援して下さいましたサポーターの皆様、本当にありがとうございました。日本一決定戦は、更に良いものが見せできるように頑張っていきますので、残り1戦ですが、応援よろしく願いいたします。